

徳富ダム建設工事共同事業者連携会議（第5回） 議事要旨

日 時 平成19年10月9日（火） 13:30～15:00

場 所 札幌開発建設部 分庁舎 A会議室

出席者

◎共同事業者				
○河川総合開発事業				
北海道建設部土木局河川課	参事	内田	重巳	
北海道札幌土木現業所事業部	部長	土栄	正人	
○国営かんがい排水事業				
北海道開発局農業水産部農業水利課	課長	古澤	清崇	
北海道開発局札幌開発建設部 農業開発課第1課	課長	半谷	敬幸	
北海道開発局札幌開発建設部 樺戸農業開発事業所	所長	奥山	昭雄	
○水道事業				
西空知広域水道企業団	事務局長	安中	経人	
◎道関係部局				
北海道農政部農村振興局農村計画課（欠席）	参事	佐々木	厚仁	
	（代理）主幹	松田	啓	
北海道環境生活部環境局環境保全課	参事	後藤田	昇	
◎地元自治体				
月形町産業課	課長	金澤	實	
浦臼町建設課	課長	横関	哲	
新十津川町建設課	課長	岩井	良道	
雨竜町産業建設課	技術長	田湯	俊博	

【議事録要旨】

1 徳富ダム建設工事共同事業者連携会議 座長挨拶
（北海道開発局 札幌開発建設部 半谷農業開発第1課長）

[挨拶概要]

この徳富ダム建設工事共同事業者連携会議は、徳富ダムにおける共同事業の実施に関する事項において、情報交換・精査検証並びに相互調整を行い、事業の円滑な推進を図ることを目的に、平成18年4月を第1回とし今回で第5回目の開催となっております。連携会議が発足しまして一年半が経過し、会の運営も一定の流れがついたことから、今回から座長及び運営事務局を北海道開発局札幌開発建設部に置かせて頂くことになりました。

今回の連携会議では、平成20年度の概算要求概要、各事業の精査検証、徳富川の水道取水に係わる濁水調整及び地域の動静について情報交換並びに調整を行いたいと考えています。

なお本会議における情報公開については、従来と同様に会議が行政機関のみの参集であることから、会議自体は非公開として扱わせていただきますが、議事内容・配布資料につきましては、札幌開発建設部のホームページを始め、共同事業者のホームページからリンクする他、関係自治体の方へ情報公開に努めたいと考えてますので、よろしくお願いたします。

2 徳富ダム建設工事共同事業者連携会議 出席者紹介

3 共同事業者相互の調整及び精査検証

(1)平成20年度 概算要求概要

○河川総合開発事業

- ・平成19年度までは、管理設備発注に向けた積算準備・水文調査等を行うこととしており、平成20年度については、管理設備工事に着手するとともに水文調査・基本設計会議資料作成等の調査委託等を行う予定です。

…平成20年度 概算要求概要へ〔資料-1 (P.1,2)〕

○国営かんがい排水事業

- ・徳富ダムを含む農業用排水施設の整備を行う、国営かんがい排水事業榊戸(二期)地区は、平成3年度に着手し、平成22年度完了に向けて事業を進めており、平成19年度までの進捗は、事業費ベースで約61%を予定しています。
- ・平成20年度の概算要求にあたっては、徳富ダムを始めとして頭首工1箇所、徳富ダム注水工等の管水路1式及び管理施設1式を要求しているところです。
- ・徳富ダム本体は、平成21年度に堤体コンクリートの最終打設を完了する予定ですが、平成20年度までに打設全体量のほぼ100%(528千m³)の進捗を図る予定です。
- ・取水放流設備は、平成19年度から取水設備の製作に着手し、平成21年度には完成する予定です。
- ・また、補償工事の付替町道は平成20年度に橋梁の橋面舗装及び高欄工事を実施し橋梁が完成する予定です。

…平成20年度 概算要求概要へ〔資料-1 (P.1,3,4)〕

○水道事業

- ・西空知広域水道事業は平成7年に事業認可を受けて、平成22年度までの工期で第4次拡張事業を実施しています。
- ・平成13年度までに水道施設工事は完了し、現在はダム建設工事費の負担を実施しています。
- ・また、構成団体の浦臼町において給水区域の拡張を行い、水道未普及地域解消事業として、約30,000千円の事業を実施します。

…平成20年度 概算要求概要へ〔資料-1 (P.1,5)〕

(2)事業の精査検証

○河川総合開発事業

- ・平成16年度の再評価以降の進捗を踏まえた検証結果(事業の進捗状況、事業コスト縮減の取り組み、事業の必要性、事業を推進する上での課題、事業の達成見込み、治水事業の検証結果)を説明。
- ・今後とも平成16年度に実施した再評価の審議結果を踏まえてコスト縮減に努め、ダムの早期完成を図ります。

…徳富ダム建設事業検証調書へ〔資料-2 (P.6)〕

○国営かんがい排水事業

- ・平成18年度の再評価以降の進捗を踏まえた検証結果(事業の進捗状況、事業コスト縮減の取り組み、事業の必要性、事業を推進する上での課題、事業の達成見込み、国営土地改良事業の検証結果)を説明。
- ・今後とも平成18年度に実施した再評価の審議結果を踏まえてコスト縮減に努め、早期の完了に向けて事業を着実に推進します。

…徳富ダム建設事業検証調書へ〔資料-2 (P.8)〕

○水道事業

- ・平成18年度の再評価以降の進捗を踏まえた検証結果（事業の進捗状況、事業コスト縮減の取り組み、事業の必要性、事業を推進する上での課題、事業の達成見込み、水道事業の検証結果）を説明。
- ・今後とも平成18年度に実施した再評価の審議結果を踏まえて徳富ダム建設事業により、水道水の安定水源確保を行います。

…徳富ダム建設事業検証調書へ〔資料-2 (P.10)〕

(3) 徳富川の水道取水に係る渇水調整について

西空知水道企業団から、今夏の徳富川の水道取水に係る渇水調整の概要及び関係者との調整経緯について説明。安定的な水道用水の取水を行うためにも、徳富ダムの早期完成を強く望まれています。

…徳富川の水道取水に係る渇水調整について〔資料-3 (P.12)〕

(4) 事業に関連した地元の動静について

○月形町

- ・道営土地改良事業札豊地区は、国営樺戸地区の関連事業として農業用排水、区画整理、暗渠排水、客土の整備を行い、農地集積による経営規模拡大と農業生産性の向上を図ることとしています。事業の工期は、平成21年度から5年間を予定しています。
- ・米の作況については、個人差があるものの全体的には、南空知の作況指数は96に及ばない模様です。その原因は7月中旬の「冷害危険期」に日照不足と低温により、不稔粒が多く発生したためと考えられます。また8月の好天で生育が進んだことにより、蛋白量が平年よりも多く推移しています。
- ・米をめぐる状況は、全国の米の作況指数が99で、このまま推移すれば23万トン程度過剰米になる可能性が強く、米価が低迷すると予想されています。銘柄間の価格については道産米の価格が上昇気運にあるとの見方もあるものの、消費ニーズは低価格志向のため、価格上昇は見込まれないとの判断が大勢です。
- ・花き出荷量は多いが、価格低迷のため収入に結びつかず、10月から11月に期待しています。果菜は6月の好天により昨年より早い出荷となり、玉伸びも良く品質も良かったのですが、価格が低迷しています。麦は蛋白が多いなど品質低下しているが、収量は計画のとおりです。

○浦臼町

- ・本町の基幹産業であります農業の本年度の作柄ですが、梅雨明け以降の天候に恵まれ、生育・登熟はおおむね順調に推移しましたが、7月の低温・日照不足等の影響により平年並みと見込まれています。
- ・本町の水田かんがい用水は、石狩川を水源とした区域、樺戸連山を源とし中小河川の自然流下水を利用している区域、ため池を利用している区域があり、どの区域ともしろ掻き期の用水及び冷害防止の深水用水が不足し苦慮しており、今年度は冬の降雪も少なく春からの小雨で、河川の水量も例年になく減少し、いつも以上に用水確保に苦慮し、ため池を利用している区域の一部では、渇水で作柄にも影響があったと聞いています。本事業によりかんがい用水が安定確保でき、水不足による生産低下の抑止と農業用水施設が整備され、生産性の向上により農業経営の安定を図る上で、徳富ダムの早期完成を望みます。
- ・樺戸（二期）地区への当町の地域活動としまして、徳富ダム現場視察を商工会・建設業協会などの町内諸団体が行っています。
- ・平成19年度から、『農地・水・環境保全向上対策事業』で四つの活動組織を結成し、農地・農業用水路等の資源や施設の良好な保全、農村環境の質的向上を図る活動をしています。

- ・共同事業である、水道事業に関しても徳富川の水量が減少し住民に節水の協力依頼をお願いしました。
- ・以上において、本町の生活水準の向上に大きく寄与している徳富ダムの早期完成は町民皆が望んでいます。

○新十津川町

- ・昨年度冬期の小雪及び今夏の異常少雨による水不足の発生に伴い、飲料水を含む生活用水と営農用水に支障をきたしました。これらの安定確保のためダムの必要性を再認識すると共に造成中の徳富ダムの早期完成を願います。
- ・情報公開につきましては、以前同様、町の広報誌及び役場建設課窓口に縦覧し、周知に努めています。
- ・本年のダム見学ですが9月30日現在で、22団体365人であります。
- ・農業に関わる部分では、湛水被害は無し。冠水被害は8月7日の局地豪雨で降雨時間は1hr程度でしたが0.7haが冠水し、内0.2haが収穫不能となりました。水不足については、渇水に対応すべく7月23日より徳富川頭首工での取水量調整を行い、新十津川ダムを利用しての50%節水を行いました。収量は昨年比「やや悪」。現時点の作業状況は一部を除き刈取終了しており、作付は全体約4,300ha中、3,500haに作付けを行っています。病害虫による大きな被害はありませんでした。

○雨竜町

- ・徳富ダム関係について、本年度、雨竜町から12団体約360名が徳富ダム現地視察を行なった。見学者がダムの規模の大きさに驚き、視察は有意義であったと口コミで町民に伝わり、視察団体が多くなりました。また、経済文教常任委員会の議会、町内会長会議等には徳富ダム本体及び注水工の工事説明、進捗状況をその都度、説明しています。さらに、10月下旬から11月中旬にかけて各町内会を回って町政懇談会を開催しますので、徳富ダム関係について説明したいと考えています。
- ・次に農地・水・環境保全対策事業の件であります。本町におきましては平成18年にモデル地区、平成19年に実施に進めてますが、実施にあたってはいろんな課題もありますが今のところ順調に進んでおります。
- ・今年度の作物状況については、稲刈りもほとんど終わりましたが、9月15日付けで北海道農政事務所統計の水稲作柄の作況指数は雨竜町は100となっています。麦は豊作、大豆は不作との結果でありました。
- ・今年は水不足で農作物の出来、不出来があったが、徳富ダムが完成すれば雨竜町の上水道及び水田の水不足が解消されることから早期完成が待たれるところです。

4 質疑応答

【北海道開発局から北海道へ】

Q 1 河川総合開発事業では平成20年度から管理設備の工事に着手するようですが、第3回の連携会議においても同様な質問をさせていただいていますが、ダム完成後の維持管理費について、伺いたいのですが。

A 1 昨年12月の連携会議においてもお話しさせていただいていますが、維持管理費については現段階ではまだ、試算はしていません。札幌土木現業所が管理しております美唄ダム、栗山ダムの例で申しますと、消耗品、光熱水費、電話料金、管理に係る人件費等で3~4千万円程度かかっています。

今後は管理に係る負担費用などについて、協議を進めさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

【北海道開発局から北海道へ】

Q 2 河川総合開発事業では平成20年度に基本設計会議資料作成等の調査委託等を予定されていますが、作成する資料の概要をお伺いしたいのですが。

A 2 従来ダムの実施にあたっては、新規実施計画調査、ダムサイト・ダム形式の決定、実施設計、試験湛水前にそれぞれ基本設計会議に諮ってきていますが、国民の環境への関心の高まりに配慮し、国土交通省から基本設計会議(環境部会)に諮るよう通知が出ています。

環境部会で必要とされる具体の資料については、直近では当別ダムで平成18年11月に開催されており、その事例から打ち合わせさせていただきますが、主な内容としては、自然環境(動植物・下流河川環境等)・水環境(貯水池水質・選択取水設備運用等)に関する項目があります。

平成20年度は、下流河道調査解析を実施し、徳富ダム下流において現在の河道を踏査し、河道の特性分析を行い、徳富ダム建設によって下流河道が大きく変動しないことを予測し、環境部会の基礎資料とします。また貯水池水質調査解析を実施し、徳富ダム完成後の供用に伴う水環境の影響について、貯水池及び下流河道の水質の変化を予測検討し、選択取水設備の運用等の検討を行い、ダム貯水池及び下流河川の良好な水環境を維持していくためのダム管理の基礎資料、及び基本設計会議環境部会の基礎資料とします。その他の環境部会資料について、平成20年度中に調査解析及び整理検討しなければならぬ項目を取りまとめ中です。

資料のとりまとめに当たっては早め早めに進めたいと考えておりますのでご協力の程、よろしくお願い致します。

【北海道から北海道開発局へ】

Q 3 最近、北海道米の評価が上がり、人気も高まっていると聞いているが、水田の作付け面積の変更は見込まれないのか、伺いたい。

A 3 水田の作付け面積については、毎年の調査結果からも変更はありません。樺戸(二期)地区の事業の推進により、良質・良食味米の生産性向上による農業経営の安定を図ってまいります。

とりまとめ<座長>

先ほど、皆様からも御報告を頂きましたが、今年の水不足は、水道を始め農業など、地域への影響が大きかったと思います。その中で徳富ダムの早期完成への要望が多かったと思います。札幌開発建設部と致しましても徳富ダム本体工事の事業主体として計画通り事業を進めて行きたいと思っております。

<事務局>

連携会議の開催時期は、会則における概算要求時期とは8月頃を、実施計画策定期間とは2月頃を示すことを確認したいと思います。

情報公開方法について、議事要旨及び配付資料の公開は、連携会議構成員の確認を得た後、速やかに施工主体である北海道開発局札幌開発建設部のホームページに掲載し、共同事業者等は、各自のホームページ上に、上記ホームページのリンクを張る。また、関係4町は、広報に上記ホームページのURLを掲載する一方、各役場の掲示版等に議事要旨及び配付資料を掲げる。その他、国の実施事業所である樺戸農業開発事業所においても希望者に配付する体制を整えることとしたいと思います。

<座長>

事務局からの説明に対して、意見等ありますか。

[一同 異議なし]

5 今後の予定

<事務局>

第6回連携会議は、実施計画策定期間の2月頃の開催に向けて調整したいと思います。

<座長>

事務局からの説明に対して、意見等ありますか。

[一同 異議なし]

6 その他

<事務局>

座長及び運営事務局が北海道開発局札幌開発建設部に変更になったことに伴い、今回の連携会議をもって会則の一部変更を行います。

…徳富ダム建設工事共同事業者連携会議 会則

[資料-4 (P.13)]

[一同 異議なし]